

9. <目標と実現方策>

1 3つの施策目標について、次のように設定します。

1) 安全

ア 水源の確実な水量管理の実施

各配水系共水源水量は十分にあります。しかしながら、各配水系共水源は1箇所であり、事故や濁水等に対する安全性は低いといえます。

【目標】

- ・ 日常の保守・点検により安全性を維持します。

イ 原水及び浄水水質の確実な監視の継続

各配水区において、浄水水質検査地点を設定し、最大で50項目の水質検査を行っています。今後水道水質の安全強化を図るため、水質検査項目を増強し、安全で安心な水道水供給に努めます。

【目標】

- ・ 水質検査項目を増強します。

ウ 必要水量の安定的な確保

安定した給水の確保には、平常時において十分な水量が得られるとともに、水圧も確保されることが必要となります。

【目標】

- ・ 老朽化した設備の更新を実施します。

2) 強靱

ア 老朽化施設の効率的な更新の実施

配水管の老朽化による漏水、破裂、赤水等の発生や、大地震による断水により、村民生活や村民活動に重大な影響を及ぼす恐れがあります。そのため、配水管の更新及び耐震化が急務であり、災害発生時にも強く安定した給水を確保することを目的として、水道管路耐震化を計画します。

【目標】

- ・ 水道管路耐震化を実施します。

イ 危機管理対策マニュアルに基づく計画的な訓練等の実施

災害時の迅速な措置及び対応のため、想定される事象についての整理を行い、個々の危険事象に対する対応策をし、危機管理対策マニュアルに基づいていき

ます。

【目標】

- ・ 危機管理対策マニュアルに基づき、計画的な訓練等を実施します。

3) 持続

ア 事業経営基盤の強化

システムの安定化や事務の効率化を強化します。

【目標】

- ・ 情報システムの最適化を実施します。

イ 人材の育成と技術の継承

人材育成のために講習会への参加を増やし、技術力向上を図ります。また、職員による定期的な内部研修会等を実施し、職員の技術継承に努めます。

【目標】

- ・ 外部講習会への参加、内部研修会の充実を図ります。
- ・ 各種資格・技術取得の推進を行います。

ウ 維持管理コストの削減

水道施設の定期的な補修による施設の長寿命化を図り、施設の更新コスト及び維持管理コストの軽減を図ります。

【目標】

- ・ 施設の長寿命化を図るため定期的な補修を行います。